

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

ささえあい

第73号

☎ 学校教育課 ☎95-9918

碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の活動と通常学級での特別支援教育について紹介します。



どんどん上手に

鷺塚小学校

鷺塚小学校では、週に3回、体幹トレーニングをしています。メニューはトランポリン、マット、ウォーキング、ペダロなどです。ウォーキングはただ歩くのではなく、①背筋を伸ばして②おへそに力を入れて③直線の上を④かかと・足の裏・足の指を意識して歩くなど、気をつけることがたくさんあります。5mほどの距離を往復するだけです、集中して歩くとかなり疲れます。

ペダロは手を使わず足だけで動かす乗り物です。自分の体のどの部分に体重を乗せるとよいか考える力と、バランス感覚が必要です。

初めは怖くて体が強ばることもありましたが、最近では、姿勢がとてもよくなり、前向きに取り組むことができるようになりました。練習を重ねてどんどん上手になっています。これからも子どもたちの頑張りを支えていきます。



通常学級における特別支援教育

特別支援教育コーディネーターより

学校にはたくさん子どもたちがいます。どの子も得意なことがあります、いろいろ好きなことがあります。その一方で、どの子にも苦手なことがあります。その中で、特に支援が必要な子に対して、「一人一人に合った特別な支援を学校全体で行う」というのが、特別支援教育の考え方です。今回は、通常学級における支援体制について紹介します。

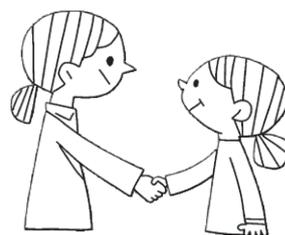
通常の学級では、学習や生活をする上で必要な支援をするスクールアシスタントを配置したり、複数の教職員が授業に入って学習支援を行ったりしています。ちょっとした声かけやそばにいただけでも、安心して取り組める子がたくさんいます。

また、通級指導教室では、通常学級に在籍しながら、決まった時間（週1～8時間）だけ個別の指導を受け、学習上または生活上の困難を改善したり克服したりするために、発音トレーニングやコミュニケーションスキルなどを学ぶことができます。

さらに、学校には相談室があり、心の教室相談員が配置されています。子どもたちが相談員に悩みを打ち明け、相談するだけでなく、教室に入りにくいときに一息つき、気分が落ち着かないときにクールダウンをする場としても活用されています。

お子さんの発達や学習についての悩みや新しい学年に向けて心配なことがある方は、スクールカウンセラー（臨床心理士）や市の教育相談室に相談することもできます。担任または特別支援教育コーディネーターにお気軽にお声がけください。

子どもたちが自分らしく輝けるよう、学校と家庭が連携して、共に歩んでいきましょう。



縫製作業をがんばっています！

中央中学校

中央中学校では、校内そくばい会に向けて、縫製作業を行っています。昨年度の人気商品やアンケート結果を分析した結果、今年度はタブレットケース、巾着袋、コースター、ランチョンマットなどを作ることにしました。縫製作業は、生地を裁断する、アイロンをかける、ミシンで縫うなどの作業工程を細分化して行うことで、効率よく作業を行うことができます。



「いろいろな縫い方を学べて楽しいです。これからもがんばります。(中3男子)」、「いろいろな作品をつくることができうれしいです。みんなと一緒に製作して楽しいです。(中3女子)」、「難しい縫い方もありましたが、上手に縫えるようになってきました。ミシンを上達させたいです。(中2女子)」など、生徒は授業に積極的に参加し、最後まで集中してやり遂げることができています。

木工製作 がんばっています！

西端中学校

西端中学校では、毎年そくばい会で木工作品を出品することが伝統となっています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、ここ2年ほどは市内そくばい会が中止となっていますが、生徒たちは西端中の伝統を受け継ぎ、校内そくばい会に向けて4月から継続して木工作品の製作に力を注いでいます。

踏み台や調味料入れ、花台などのいろいろな作品を、時間をかけて作っていきます。細かい仕上げは教師が行いますが、材料の切り出しやすりがけ、取り付けなどをすべて自分たちで行います。

生徒たちは製作活動を通じて、工具の適切な使い方や作業の安全な進め方だけでなく、分からないことは自分で質問することや、作業の完了を報告し点検を受けることなど、仕事を進める上で必要なコミュニケーションについても学びます。

また、作品を使っていただく人のことを考えて、手触りを確かめながら丁寧にやすりがけを行います。自分たちが作ったものを、使う人に気持ちよく使ってもらうために努力することの大切さを学ぶ機会にもなっています。

自分たちが作った木工作品をより多くの人に気持ちよく使っていただけるように、また、西端中学校の伝統が受け継がれていくように、作品作りに励んでいます。



「令和4年度市内そくばい会」中止のお知らせ

2年前までは、毎年2月に新川中学校体育館で、市内特別支援学級の児童生徒とふれあい作業所の方々で作った作品のそくばい会を開催してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から検討した結果、本年度も中止という決断をさせていただきました。開催を楽しみにして下さっていた皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解をいただきますようお願い申し上げます。